

11月21日 日 13:00~17:00 オンライン開催

自然栽培の実践者が、取組みをじっくり語る1日

自然栽培フェア2021 講演会

第1部 パネルディスカッション講演者プロフィール

コーディネーター：松浦智紀 (有)サン・スマイル 代表取締役

農業を志し農学部へ、環境保全型農業を志す中で、当時の問題は流通にあると感じ、有機農産物流通の仕事に就く。理想と現実のハザマで裏の社会を見る中、小売店にて一人ひとりに語る大切さを痛感。退社し有機農産物等の引き売り等を開始。医療重視者資格を取得し、現在、オーガニックショップ経営ならびに無肥料自然栽培農産物の流通等を行い、関わる方の幸福と、100年先でも継続できる永続可能な農業の一つの可能性として「無肥料自然栽培」の普及のため全国各地を回る。その傍ら、講演、執筆活動を精力的に行っている。コンセプトは「おいしいはしあわせ」。本年創業24年。

【有限会社サン・スマイル代表取締役 / 環境保全型農業技術研究会幹事 / NPO オーガニック事業協会 理事 / 一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会 理事 / (株) ゆうき八百屋 社外取締役 / 一般社団法人日本 SDGs 農業協会 監事】



高木 晃 (たかぎ あきら)

1959 (昭和 34) 年北海道札幌生まれ、同市在住。東京コンセルヴェトアール尚美を卒業後、25 歳から26 年間ニューヨークで暮らし、2010 年に故郷の札幌へ。奇跡のりんごの木村さんとの出会いがきっかけで余市で自然農法を学び自然栽培の農業事業を行い農業コーディネータとして活動し札幌市西区小別沢と当別町の農地にて、自然栽培農業の拡充を進めている。自律を目指した福祉とのコラボも行っている。



照沼 勝浩 (てるぬま・かつひろ)

1962 年、茨城県東海村で 200 年以上続く農家の 20 代目長男として生まれる。小学生の時から家業を手伝い 2004 年に父が設立した照沼勝一商店 (現：株式会社照沼) 代表取締役に就任。2012 年からは JICA タンザニアほしいも調査事業でアフリカ進出、現地生産と販売を開始。現在は、(株) 照沼取締役名誉会長、茨城県中央ほしいも協同組合理事長、茨城県最高品質農産物研究会会長、本年 2021 年 9 月、日本 SDGs 農業法人協会代表理事に就任。SDGs に貢献する農業を提唱。40ha で自然栽培サツマイモを生産。



大西 礼二 (おおにし・れいじ)

1965 年香川県高松市生まれ。父方祖父は香川のコトデングループ創業者。母方祖父は広島銀行トップで日本商業会議所副会頭。早稲田大学卒業後、西武グループ堤オーナーのもとで 8 年間帝王学を学ぶ。(株) 自然回帰を創業し現在 25 期目。外食事業を基幹とし多店舗化しながら、聖路加産科クリニックや病院内オーガニックレストランのプロデュース・運営を手掛け、正食 (正しい食) を世の中に広めようと出産・子育て世代に向けた正食に特化した自然食品店の開業を準備中。株式会社自然回帰代表取締役。



伊藤 誠 (いとう・まこと)

1978 年、東京都生まれ。『生き物と共存する農業の仕組みを作る』ことを志し、「自然栽培」と「木村秋則氏」に出会う。2015 年から東京・自由が丘の「自然栽培の仲間たち」で店舗責任者として従事。2020 年 2 月より山形県で仲間 4 人で『自然と調和した農業の仕組みをつくる』理念のもと「一家農園 (株)」設立。現在、1.5ha で自然栽培で葡萄を育て委託醸造で添加物不使用のナチュラルワインを醸造・販売。



自然栽培を、さらに学ぶ 1 日

2021 年の自然栽培フェアは残念ながら中止となりましたが、2013 年より毎年行ってきたフェアのつながりを絶やさず、実践者の取組みをじっくりと学ぶ講演会を企画しました。ご参加をお待ちしております！

ご参加費 **¥2,500 (税込)**

(テキスト代 (当日は電子簡易版)・講義代)



詳細：お申込みはこちら